学校教育目標	総合評価
<p>「花とみどりと笑顔の学校」 10年後、20年後に大輪の花を咲かせるための今の創造 よくふれあい・よく学び・よくあそぶ</p>	<p>「おはようございます」「こんにちは」と子どもたちのさわやかなあいさつが広がり、昨年度に引き続きあいさつの響き渡る学校となっている。また、クラブ活動や職場体験学習、児童会活動、学校行事、日々の授業等に地域の方が自然な形で関わり、子どもたちは多様な他者とふれあい、つながる喜びを味わうことができている。</p> <p>後期は「よく学ぶ」の具体として「自分で考える・自分の考えをかく・考えを出し合う」授業づくりを児童・教職員・地域が一体となって取り組んでいく。そのことが10年後、20年後に大輪の花を咲かせるために必要な力であると考えている。</p>

領域	重点	評価項目	評価の観点	成果と課題	評価	改善策・向上策
学校教育	よくふれ合い	あいさつの響く学校づくり	「5つのあいさつ」（1日に何度も、相手を見て、会釈して、笑顔で、自分から）をおこなっている。	<ul style="list-style-type: none"> 自分からあいさつをする子が多い。 「あいさつ」に取り組んでいる。 ○心からあいさつをしているかを、今後の課題である。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 全校で「なぜあいさつをしなければならぬか」「あいさつの大切さ」などについて考えていく。
		かかわり合う場の確保	北小応援団と連携した活動を積極的に行い、地域のもてる力を有効活用している。	<ul style="list-style-type: none"> 今年度新たなクラブが3つ新設され(将棋・写真・冒険)全19のクラブ活動において、地域の外部講師と関わり自分の「好き」を追究する時間になっている。 総合的な学習の時間、学校行事等でも地域の方に支えていただき、共に学ぶ姿が見られる。(総合・フラワーロード・遠足・避難訓練・防災学習・ふれ愛センター・など) 	A	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、応援団の方や、地域の方と一緒にできる活動を考えていく。 また学習後、つながるよさを児童が実感できる振り返りの時間をしっかり設定していく。
	よく学び	学年の枠を超えて友だちと交流する場の保証	学年内やペア学級さらには全校で友だちとふれあう活動・子どもたちのアイデアを生かした児童会活動を通して、互いに高め合う活動を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 他学年や他クラスなど、クラスの枠を超えて活動を行うことができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 教科の学習において、伝える活動場面等で、積極的にペア学級や学年内等の交流に取り組んでいく。
		子どもたちの「問い」を真ん中にすえた授業の創造	以下の点を大切に授業を行っている。 ○子どもの問いを真ん中にすえた授業展開 ○これまでの学びを活用・発揮できる学習過程 ○多様な他者とかかわりあうことができる学習環境	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの問いを真ん中に据えた授業を意識して行ってきたことで、子どもたちが主体的に学習したり、様々な活動に取り組んだりすることができた。 子どもたちがもった問いを、どのように解決したり学んだりするかについて研究を深めていく。 	B	<ul style="list-style-type: none"> どのように学ぶかについて、それまでの学びを活用して考えることができるように単元や授業を構成したり、他者との関わりの中から学ぶことができる活動形態を工夫したりする。 問いについて自らの考えをもち、それらを表現することができるような指導を計画する。 コミュニティースクール等をより充実させ、子どもたちが様々な人と関わりながら学ぶことができるようにする。
		「ハッピータイム」（外遊びやかかわり遊びの日）の位置づけの継続充実と、遊びの時間の	子どもと一緒に外遊びを含むかかわり遊びを楽しんだり、子どもが遊びに進んで取り組めるよう働きかけたりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ハッピータイムや休み時間には、友だちと関わりながら、楽しく遊んでいる姿が多くみられる。 	B+	<ul style="list-style-type: none"> ハッピータイムの時間に遊び方や友だちとの関わり方で困っている児童がいないかを教師が常に把握してい

		確保		・児童や保護者の評価も高く、30分の時間を確保していることは、効果的であると感ずる。		く必要がある。 ・夏場は気温が高くなりすぎて外で遊べない日も出てくる。朝の開錠時間を早めて朝のうちに外で遊べる時間を確保する。
学校経営	保護者地域との連携	情報の発信	教育方針・取り組みやその成果・連絡など、必要な情報を定期的に発信している。	・HPの更新や学年・学級通信の発行を通じて、学校の取り組みや子どもたちの日々の学びの様子を発信することができた。	B	・定期的な情報発信を続け、学校の様子を伝えていく。 ・イラストや写真等の著作権や肖像権には十分に気を付けて使用する。
		P T A ・学校応援団との連携	P T A や学校応援団との連携を十分行っている。	・クラブ活動、フラワーロード、PTCA 作業、自習対応、校外学習等で地域の方々とともに学校づくりを行っている。	B+	・2学期以降も引き続き、地域の方々と関わり合う活動や学習を行っている。
		一人ひとりに応じた支援	全職員で児童を支え、一人ひとりに応じた支援をおこなっている。	・授業の中や行事等で必要に応じた個別の支援を行っている。さらに授業や支援会議等複数の職員で児童支援を行っていくことができた。	B	さらに支援を望む保護者の方（児童）と懇談や相談を通して聞き取り、具体的な支援に結び付けていく。 ・校内の環境整備を行い、相談室を拡大することで、より個に応じた支援ができるようにする。